

○工事施工管理基準・実施要領（新旧対照表）

改 正 後

現 行

農林水産部（水産林務関係）**工 事 施 工 管 理 基 準****工 事 施 工 管 理 実 施 要 領**

福岡県農林水産部

令和8年2月

農林水産部（水産林務関係）**工 事 施 工 管 理 基 準****工 事 施 工 管 理 実 施 要 領**

福岡県農林水産部

令和7年10月

福岡県農林水産部（水産林務関係）**工 事 施 工 管 理 実 施 要 領**

1～4 [略]

5. 施工管理記録様式

1)～3) [略]

福岡県農林水産部（水産林務関係）**工 事 施 工 管 理 実 施 要 領**

1～4 [略]

5. 施工管理記録様式

1)～3) [略]

○工事施工管理基準・実施要領（新旧対照表）

改 正 後

4) 出来形管理表 (様式-4)

・表紙 (省略)

出来形管理総括表(中間)

工事名

工種	種別	測定項目	測定基準	測定回数		規格値 (mm)	測定値			摘要
				計画	実施		最大値	最小値	平均値	
道路工		基準高	基準高は、測点の中心線上及び両端について測定する。			± 50				
		幅員	幅員は、全幅と中心線から左右それぞれの幅を、測点ごとに測定する。			+ 200 - 0				
		IP間距離	IP間距離は、測点ごとに測定する。			+ 0.5% - 0.2%				
		測点間距離	測点間距離は、測点ごとに測定する。			± 100				
		施工延長※2	施工延長は、測点ごとに測定する。	設計延長	実測延長	-0				
		IP点交角	IP点交角は、全交点及び全測点について測定する。			± 1°				
むへ擁壁 岸工 工・ 土留工 含	積キコン ・ヤン 鋼製ストリ ・クリー ・ト ・ブ ・ト ・補 ・強 ・土 ・ツ ・ブ ・壁 ・ク ・レ	基準高	基準高							
		高さ (法長)	高さ (法長)							
		幅 (厚さ)	幅 (厚さ)							
		法勾配 (壁前傾)	法勾配 (壁前傾)							
		延長	延長							
ス上へ舗 ラ層表装 グ路肩工 盤へ基 鉄屑鋼 ・	ストリートア ラ・・ス クトコブ ・ンア ・クル ・鋼	基準高	基準高							
		幅	幅							
		厚さ	厚さ							
固へ治 工流山 含路ダム む工・ 床	トコン ・ン ・鋼 クリー ・	基準高	基準高							
		堤幅	堤幅							
		堤高さ	堤高さ							
		堤延長	堤延長							
		法勾配 (下流側倒れ)	法勾配 (下流側倒れ)							
シへ山 ア腹工 カ・ 工・ロ ツクボ ルト工 ・ボ リ	アンカ ー自由長 (鋼材長) アンカ一定着長 削孔長 削孔角 軸間隔 デンンド ・挿入 グラウト注 量 削孔展開角 保孔管挿入	基準高	基準高							
		幅	幅							
		高さ	高さ							
		厚さ	厚さ							
		延長	延長							
		アンカー自由長 (鋼材長)	アンカー自由長 (鋼材長)							
		アンカ一定着長	アンカ一定着長							
		削孔長	削孔長							
		削孔角	削孔角							
		軸間隔	軸間隔							

※1 道路工、擁壁工(護岸工・土留工含む)、舗装工(表層・基層・上層路盤(鉄鋼スラグ))、治山ダム工(流路工・床固工含む)、山腹工(アンカー工・ロックボルト工・ボーリング工)を必須工種とする

(出来形管理基準に対応した測定項目のみ記載する。)

※2 道路工の施工延長については、測定回数欄に、設計延長と実測延長の値を記入する。
※3 以下の工種については記載を省略できる。

※3 以下の工種については記載を省略できる。
【省略可能な工種】

【省略可能な工種】
土工、基礎工、水路

土工、基礎工、水路工等、法面工、法面復工、暗渠工、柵工、安生施設、踏床上、下層路盤工上層路盤工(鉄鋼スラグ以外)、区画線工、仮設工

上層路盤工(鉄鋼スラブ以外)、区画線工、仮設工
しゆく工時の型枠、床掘の出来形管理表及び出来形

その他の記載工種は、監督官と協議の上決定すること。

次の二つの記載工程は、監督員と勘定の上決定すること。

4-(2)~(18) [略]

5) ~ 7) [略]

4) 出來形管理表 (樣式-4)

・表紙 (省略)

4-(1)

出来形管理総括表(中間 · しゅん工検査

工事名

※しゅん工時の型枠、床掘の出来形管理表及び出来形管理総括表の提出は不要

4-(2) ~ (18) 「略」

5) ~ 7) 「略